

# 赤十字

赤十字の人道活動は皆様方の  
日本赤十字社活動支援費（日赤社費）で行われています  
ご協力をお願いします

## NEWS in 徳島

ニュース

第34号

平成27年12月  
発行

発行所 日本赤十字社徳島県支部  
〒770-0044 徳島市庄町三丁目12番地1  
TEL 088-631-6000  
FAX 088-631-6100  
URL <http://www2.tcn.ne.jp/~jrcawa1/>



聴衆を魅了した城西中学校の合唱部

### 爽やかな歌声響く！ 「赤十字の集い」

秋晴れに恵まれた10月14日、あわぎんホール（徳島県郷土文化会館）で県内の赤十字ボランティアなど約680人が一堂に会し、「平成27年度赤十字の集い」を開催しました。

式典では奉仕団活動や青少年赤十字活動に功労のあつた210名を顕彰するとともに、本年4月に発生したネパール地震の際に、日本赤十字社の医療チームの一員として現地で医療活動を行った徳島赤十字病院の勝占智子看護師による活動報告等を行いました。



飯泉支部長（左）から感謝状を受け取る受章代表者（右）

今年の集いは「青少年赤十字」にスポットライトを当て、プロログでは青少年赤十字加盟校である徳島市城西中学校が「空は世界へ」と「あこがれの赤十字」の2曲を合唱。フレッシュで爽やかな歌声が会場全体に響き渡りました。

また、今年度から「青少年赤十字防災教育モデル事業」の実施校に指定されている徳島市論田小学校の漆原和美教諭から、学校で取り組んでいる防災教育の現状を発表。児童の発達段階に応じたプログラムを実践していることや、その活動を通じて指導する教員たちの防災意識も向上していることなどの紹介がありました。

活動報告や発表を聞いた参会者からは、「自分たちも工夫をしながら、それぞれの地域で赤十字活動に取り組んでいきたい」などの声が聞かれました。

## ＋ ネパール地震で、医療支援

7月から1ヵ月間、当支部の勝占看護師を現地へ派遣しました。

発災から2ヶ月経っても、毎日150人もの患者が訪れたメラムチ村の診療所で、医療チームはけがや骨折などの患者を中心に治療を行いました。

勝占看護師が担当したのは、外傷患者。短期間に多くの人に接することから、必要な処置を引き出す対話力が求められました。

医療チームが最終班であったことを踏まえ、勝占看護師は「今後

の現地での治療に少しでも役立てばとの思いで、地元スタッフに技術を伝えながら治療しました」と活動を振り返りました。



現地だけで人が手当てする勝占看護師



## 青少年赤十字防災教育モデル事業とは

日本赤十字社では、授業ですぐ使える防災教材『まもるいのち ひろめるぼうさい』を活用した取り組みを推進しています。

この教材は、児童・生徒が自然災害から自分の命を守ることを学び、防災意識を高めることで、家庭や地域の中で防災・減災の取り組みを主体的に担うことが出来る力を育むことをねらいとし、日赤と現場の教員が提案し、作成したものです。

現在、この教材を活用したモデル事業の実施校として、全国の青少年赤十字加盟校13,690校の中から、論田小学校を含む9校が選ばれ、取り組みを推進しています。



日本赤十字社が推進している  
防災教材



# 青少年赤十字リーダーを養成!



夏休み期間中に開催している「青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター（トレセン）」。  
今年度は、小・中・高等学校から合わせて77名が参加しました。

トレセンでは、赤十字や青少年赤十字についての学習をはじめ、災害時に役立つ応急手当や炊き出し訓練を体験。今年度から新たに、青少年赤十字防災教育プログラム「まもるいのちひろめるぼうさい」のワークショップを取り入れ、災害時に自ら考え、判断し、危険から身を守る方法を学びました。

参加したメンバーからは「自分の意見を言うことと、他人の意見を聞くことの大切さがわかった」「集団生活の中で、自分には何ができるのか考えて行動したい」といった声が聞かれました。  
こうした学びを学校に持ち帰り、「気づき・考え・実行する」青少年赤十字のリーダーとして活躍してくれることを期待しています。



“竹ひごタワー”に挑戦!

## 「赤十字ゆかりの地」を活用した人道学習を推進!



鳴門市主催の人権教室で、徳島インディゴソックスの選手と紙芝居を上演  
(7月21日、鳴門市板東児童クラブ)

当支部では、鳴門市ドイツ村公園に設置している「赤十字ゆかりの地モニュメント」や板東俘虜収容所と赤十字の関係を描いた紙芝居「ばんどうのコスモス」を活用した人道学習や人権研修に取り組んでいます。  
さらに、今年度からは鳴門市内の小学校がドイツ館で板東俘虜収容所の学習を実施する際、紙芝居の上演や赤十字ゆかりの地見学等に協力しています。  
現在、県内はもとより県外の青少年赤十字加盟校や赤十字奉仕団等が、ドイツ館やドイツ村公園を多数訪問しており、当支部では今後も板東俘虜収容所で展開された人道的な史実を通じて、人道精神の普及を図りたいと考えています。

## はじめての「梨狩り」



徳島赤十字乳児院では、子どもたちの心に残る思い出作りの一環として、動物園見学や遠足など、年齢・季節に合わせて様々な院外行事を企画しています。

8月20日には、子どもたちが梨の収穫体験に出かけました。ころよく引き受けてくれたのは、自宅で梨を栽培している鳴門市地区赤十字奉仕団の矢野壽美子委員長です。

初めのうちは、頭上一面に広がる梨の木に戸惑う子どもたちでしたが、次第に楽しげな表情を見せるようになりました。

収穫した梨をお腹いっぱいにはおぼった子どもたちは、乳児院で待っている子へのお土産の梨を手に、笑顔いっぱい帰宅しました。



夢中で梨を収穫する乳児院の子ども

## 「赤十字ゆかりの地モニュメント」とは?



赤十字ゆかりの地モニュメントを見学する  
鳴門市林崎小学校5年生児童  
(10月16日、鳴門市ドイツ村公園)

ドイツ兵捕虜の人権を尊重した収容所運営や、ドイツ兵捕虜による赤十字マークを掲げてのロシアの同胞への救済活動などの人道的な史実を後世に伝えるため、当支部が鳴門市ドイツ村公園内に平成23年に設置した記念碑です。

## JCOG胃がんグループの認定&先進医療の届出が承認



徳島赤十字病院  
第二外科部長 沖津 宏

徳島赤十字病院は、がん診療連携拠点病院としてがん診療に対する治療を積極的に進めています。

本年度から日本臨床腫瘍研究グループ（JCOG）により運営されるがん多施設共同研究グループ（胃がんグループ）の正式施設として当院消化器外科が認定されました。これは今まで行ってきた治療内容や症例数が評価されたことを表しています。

JCOGは、各種がん治療ガイドライン作成の中心的役割を担っています。胃がんグループでは現在約50施設が認定されていますが、四国では当院と四国がんセンターのみです。これは胃がんに対する高度な医療を実施できる体制を整えた施設であることを意味しています。

そして本年7月から、下記臨床試験の⑤について、厚生労働省より先進医療として承認されました。このようにJCOGに参加することは、術前に使用できなかった薬剤や、保険適応外の胃がんに対する抗がん剤を、先進医療として使用することが可能となります。

これらは患者さまにとって有益なものであり、研究が進むことは、本県だけでなく日本の胃がん治療の進歩に貢献することとなります。

## シリーズ 徳島赤十字病院 第9回 消化器外科

徳島赤十字病院の診療科をご紹介します。今回は、胃がん治療で高度な医療を提供する消化器外科です。

### ■ 当院が参加している JCOG 胃がんグループの臨床試験

- ① JCOG1013：切除不能進行再発胃がんに対する化学療法 CS（SP）vsDCS 療法
- ② JCOG1104：OPAS-1 p-stgae II期に対する TS-1 補助化学療法 8 コース vs 4 コース
- ③ JCOG1108：高度腹水症例に対する FLTAX の有用性
- ④ JCOG1213：胃神経内分泌癌に対する EP vs IP
- ⑤ JCOG1301：高度リンパ節転移を伴う胃がんに対する HER-NAC（術前化学療法）の有用性
- ⑥ JCOG1401：腹腔鏡下胃全摘及び噴門側胃切除の安全性及び有効性の検討





## さまざまな形で、赤十字活動を支援 「徳島県赤十字有功会」

徳島県赤十字有功会（古川 武弘会長）は、赤十字活動を支援する個人や法人によって組織された赤十字の支援団体で、現在の会員数は、個人159名、法人103社となっています。

赤十字活動資金への協力や寄付呼びかけ運動をはじめ、赤十字奉仕団への活動用ジャンパーや青少年赤十字へのTシャツの贈呈、各地域への災害用移動炊飯器の設置協力、献血の推進など、年間を通じてさまざまな支援活動に取り組んでいます。

### ●青少年赤十字の活動支援



有功会からのTシャツを着て、青少年赤十字トレーニング・センターで活動する生徒（8月18日）

### ●災害用移動炊飯器の設置協力



鳴門市大津地区に設置した災害用移動炊飯器（8月7日）

## 飲料購入で、赤十字を支援 広がる赤十字活動支援自販機の設置

当支部では、徳島県赤十字有功会や地区・分区、企業等の協力を得て、赤十字活動支援自販機の設置を進めています。

この自販機は、売上の一部が当支部の活動資金として自動的に寄付され、災害時の救護活動や救急法の普及活動など、「いのちと健康、尊厳」を守る赤十字活動に活用されるものです。

7月には、沖洲コミュニティ協議会様の協力を得て沖洲コミュニティセンターに、9月には日本フネ様の協力を得て本社工場敷地内に、10月には阿波銀行様の協力を得て阿波銀行新町ビル前公園に自販機を設置しました。

今後も自販機の設置を進めたいと考えており、ご協力をお願いします。

### ■自販機設置のお問い合わせ

日本赤十字社徳島県支部事務局  
TEL・088-631-6000



沖洲コミュニティセンターに設置した赤十字活動支援自販機（大塚商品機）第1号機

## 小学校で「赤十字防災ひろば」開催

10月9日、吉野川市立川田小学校で4年生から6年生の児童37名が参加し、「赤十字防災ひろば」を開催しました。

このひろばは、南海トラフ巨大地震等に備え、避難所となる学校で、災害時の備えを児童が学ぶことを目的に吉野川市地区赤十字奉仕団山川分団の協力を得て小学校で初めて実施。

児童は、災害用移動炊飯器を活用した炊き出しや応急手当などを体験したほか、クイズ形式で防災の知識を学んだり、災害時の非常持ち出し品等についてグループワークを行いました。

参加した児童からは、「もしもの時の備えを学ぶことで、災害が起こったときに焦らずに行動できると思う」と力強い声が聞かれました。



毛布担架を体験する児童とサポートする奉仕団員

## 台風11号災害で、 那賀町に救援物資を搬送



救援物資を搬入する赤十字奉仕団員と当支部救護員

7月16日深夜、四国を縦断した台風11号。那賀町では、局地的な豪雨に見舞われ、73世帯が浸水による被害を受けました。

当支部では、台風通過直後に地区・分区や那賀町（驚敷）赤十字奉仕団員等の協力を得て、緊急セットや安眠セット、毛布、タオル、石鹸、ブルーシートを搬送。

那賀町驚敷体育館に搬入された救援物資は、各所帯ごとに分けられ、奉仕団員や町職員等の手によって、被災された方々に届けられました。

## 鳴門・阿南の幹線道路に看板を設置

当支部では、赤十字活動の啓発のために、5年前から地区・分区や赤十字奉仕団、地元住民の協力を得て、交通量の多い幹線道路沿いに赤十字看板を設置しています。

看板には「いのちと健康、尊厳を守る」という日本赤十字社の使命と、その活動の原資が、皆様から寄せられる赤十字活動支援費であることを記載しています。

10月16日には鳴門市北灘町の国道11号線沿いに、また11月12日には阿南市長生町の県道24号線沿いに地域住民の協力を得て看板を設置。これで赤十字看板は、県内8カ所となりました。



鳴門市北灘町の国道沿いに設置した赤十字看板



阿南市長生町の県道沿いに設置した赤十字看板

## 後世に引き継ぐあなたの思い - 遺産寄付 -

近年、「自分で築いた財産を相続させた後の残余財産を寄付したい」、また大切な方を亡くされた方から、「故人の遺産を社会のために寄付したい」という相談が寄せられています。

当支部では、こうした尊いご意思に応えるために、「遺言」や「相続財産」による“思いの伝え方”を提案させていただいています。

### ●遺贈による寄付

遺言により、自分の築いた財産を特定の人々に分けることを遺贈といいます。この遺言による相続は、民法が定めている法定相続の規定よりも優先され、遺言書の内容により、遺産の受取人やその内容を指定することができます。

この遺言による方法で、財産の一部の受取人として日本赤十字社徳島県支部を指定することができます。

### ●相続財産による寄付

ご遺族の方が相続された財産を相続税の申告期限内（相続開始から10ヶ月以内）に日本赤十字社徳島県支部にご寄付いただいた場合、その寄付された財産には相続税がかかりません。



ご希望の方はパンフレットをお送りさせていただきます

お問い合わせは 日本赤十字社徳島県支部事務局 総務課  
TEL：088-631-6000 まで





# 人間を救うのは、人間だ。 日本赤十字社 スローガン

## 献血者の送迎や献血資材運搬に☆ トヨタカローラ徳島より乗用車1台寄贈

10月18日、トヨタカローラ徳島株式会社50周年記念イベント内で贈呈式があり、献血の資材運搬や献血者の送迎に使用する乗用車1台を寄贈いただきました。



鍵を渡す竹内社長（左）と受け取る佐野事業部長（右）

竹内浩人社長から「この車両を、少しでも多くの命を救う一助として活用して欲しい」と、当センター佐野周次事業部長へ鍵が手渡されました。同社からの車両贈呈は今回で4台目。今日も血液を確保するため県内を巡回しています。

## 7月は「愛の血液助け合い運動」月間★ 徳島インディゴソックス選手が献血PR

7月19日「ゆめタウン徳島」で、徳島インディゴソックスの選手と大学生ボランティアが、献血推進のうちわを買い物客に配布して、協力を呼びかけました。



献血を呼びかける徳島インディゴソックスの選手ら

会場には献血キャラクターの「けんけつちゃん」と同球団のイメージキャラクター「Mr. インディー」も登場。63名の方に献血へのご協力をいただきました。

イベントに参加した選手は「献血という命にかかわるボランティアに参加して、試合のときのように心が熱くなった。命のバトンを繋げていきたい」と話していました。

## 若者の献血離れにSTOPを！ 献血推進ポスター入賞作品発表

県内の中学生・高校生のみなさんに、献血への理解と関心を深めていただくため募集している献血推進ポスター。

応募作品の中から審査の結果、次の方々が入賞されました。

☆**最優秀賞** 山口 扇世 さん（池田中2年）

☆**優秀賞（順不同）** 遠藤 愛佳 さん（徳島中2年）

大西 眞弥 さん（阿波中3年）

小野 瑠梨花 さん（徳島北高1年）

藤原 朋夏 さん（阿波中3年）

米田 あゆみ さん（徳島中2年）

※入賞作品は、平成28年3月末まで献血ルーム アミコ内で展示しています

最優秀賞  
山口 扇世 さん



## 徳島県の献血推進イメージソングができました♪ 「愛のバトン～Sharing the Love～」

作詞・作曲は「エバラ健太」さん。地元東京と第2の故郷徳島を拠点に活動するギタリスト・シンガーソングライターです。「藍色」や「吉野川」など徳島をイメージした曲を数多く作られています。

徳島県のホームページからダウンロードできますので、ぜひお聴きください♪



<http://www.pref.tokushima.jp/docs/2015072700176/>

## 徳島県のドナー登録者数は 全国ワースト3…

### 骨髄バンクドナー登録説明会 実施中

献血ルーム アミコでは、骨髄バンクの説明員が毎月1回来所し、献血者への説明を行っています。骨髄移植を待ち望んでいる血液難病の患者さんは、全国で1,500人以上。一人でも多くの命を救うためには、一人でも多くのドナー登録が必要です。

まずは骨髄バンクのこと、知ってください。少し話を聞いてみたい、という方もお気軽にどうぞ。日時等のお問い合わせは血液センターまで。



## 血液の不足状況、献血バスの予定、各種イベント情報はホームページで

<http://www.tokushima.bc.jrc.or.jp/> または

徳島県赤十字血液センター

検索

＜日本赤十字社徳島県支部管内の赤十字施設をご案内します＞

・日本赤十字社徳島県支部事務局  
・徳島赤十字ひのみね総合療育センター  
・徳島赤十字乳児院

徳島市庄町3丁目12-1 TEL:088-631-6000 徳島赤十字病院  
小松島市中田町新開4-1 TEL:0885-32-0903 徳島県赤十字血液センター  
小松島市中田町新開2-2 TEL:0885-32-0555

小松島市小松島町字井利ノ口103 TEL:0885-32-2555  
徳島市庄町3丁目12-1 TEL:088-631-3200